

美術工芸館 Newsletter

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

Tohoku Fukushi University
Serizawa Keisuke Art and Craft Museum
ニュースレター 2023年3月 Vol. 3

まもなく新年度が始まります

東北福祉大学国見キャンパス内には大学付属の美術館「芹沢銈介美術工芸館」があります。2号館1階のちょうど真ん中の屋根のかかったところが入口。そこからエントランスエレベーターで5階へ進みます。



手前の建物が2号館。
(写真奥は福聚殿・学食181ホール)

去年は、完全予約制の授業利用が主となり、ようやく後期から少しずつ自由な見学ができるようになりました。今年は前・後期に分けて芹沢銈介作品と芹沢コレクションを紹介する企画展を行います。開館する際は学内ポータルシステム「UNIVERSAL PASSPORT」や当館ホームページでお知らせするので是非チェックしてください。

その前に少しでも施設の中をご紹介します。詳しくは次のページで。

News
01

当館ホームページリニューアル

ホームページはこちらから！



2023年1月、サイトをリニューアルし、スマートフォン用に最適化した表示で“見やすく”“使いやすく”になりました。

「施設紹介」や「宮城・仙台とのかかわり」（静岡出身の芹沢銈介との繋がり）、「在学生の方へ」など新コンテンツも加わりました。特に「在学生の方へ」はQ&A方式で、美術工芸館のことから利用方法まで簡単に紹介しています。リニューアルされたホームページをどうぞご利用ください。

1

5階 ロビー



こだわりのデザインと木のぬくもりが心地よい椅子の数々。お気に入りの椅子を見つけてみてください。

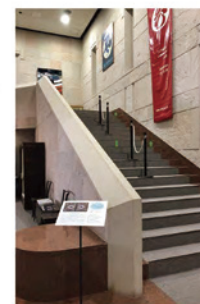
ロビーの吹き抜け



美術館を象徴する巨大なステンドグラス。天井から美しい光が降りそそぎます。芹沢銈介の作品をもとにデザインされています。

3

階段を上ってステンドグラスを間近で見よう！



ミュージアムショップ

Topics
01

Welcome to 美術工芸館 !!

今回は展示室以外の施設の見どころを紹介します。
5階ロビーは6階まで吹き抜けの開放感あふれる場所になっています。
このロビーを中心に、展示室をはじめ様々なスペースへ行くことができます。お気に入りの場所を見つけに来てみませんか。

6階 芹沢銈介の応接間（再現）



芹沢銈介の自宅（東京・蒲田）にあった応接間を実寸大で再現。
来客者の好みに合わせたレイアウトにしたそうです。工芸館でも展覧会毎に模様替えをしています。

2

ミュージアムショップより、新生活に彩りを添えるイチ押しグッズをご紹介します。

《いろは文の液晶クロス》
メガネ拭き、スマホやPCのお手入れに。



《木の葉模様の手ぬぐい》
新緑を思わせるかわいい模様。
インテリアやキッチン用に。

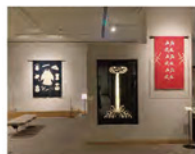


4

Topics 02

学内向けに自由見学を開始！ おみくじも！

12月より自由な見学利用となったことで、開館を待っていてくれた学生からは「1年生の時以来。ずっと待っていた」「一度来てみたかったので友人を誘ってきた」など嬉しい声を聞くことができました。芹沢銈介の屏風を中心にした作品と春に因んだ縁起の良いモチーフの「養宝尽くし文壁掛」を展示し、1月にこの模様に関連したおみくじイベントも実施しました。引いたおみくじをそっと開き、次第に笑顔が広がる学生の表情が印象的でした。



Topics 03

クリストフ・マルケ氏 来館

フランス国立極東学院・京都支部長で教授のクリストフ・マルケ氏が当館を訪問しました。氏は日本美術史の専門家で、江戸時代に人気を博した「大津絵」に造詣が深く、著書に『大津絵 民衆的風刺の世界』があります。マルケ氏は大津絵研究を進めることで、柳宗悦の民藝運動や芹沢銈介コレクションへの関心を持たれ、今回、郡山女子大学短期大学部の會田容弘教授のご紹介で当館の展示を見学されました。当日は芹澤恵子名誉館長と歓談しながらの見学となりました。マルケ氏はスペイン・バルセロナの Museu Etnològic i de Cultures del Món で開催する「芹沢銈介展」（会期：2023年6月16日～2024年1月7日）にも携わるそうです。



展示室で記念撮影
(左からマルケ氏、芹澤名誉館長、會田氏)